

滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部 第53回本部員会議 次第

日 時：令和4年1月4日(火)
16時30分～17時
場 所：危機管理センター
災害対策本部室

あいさつ

議 題

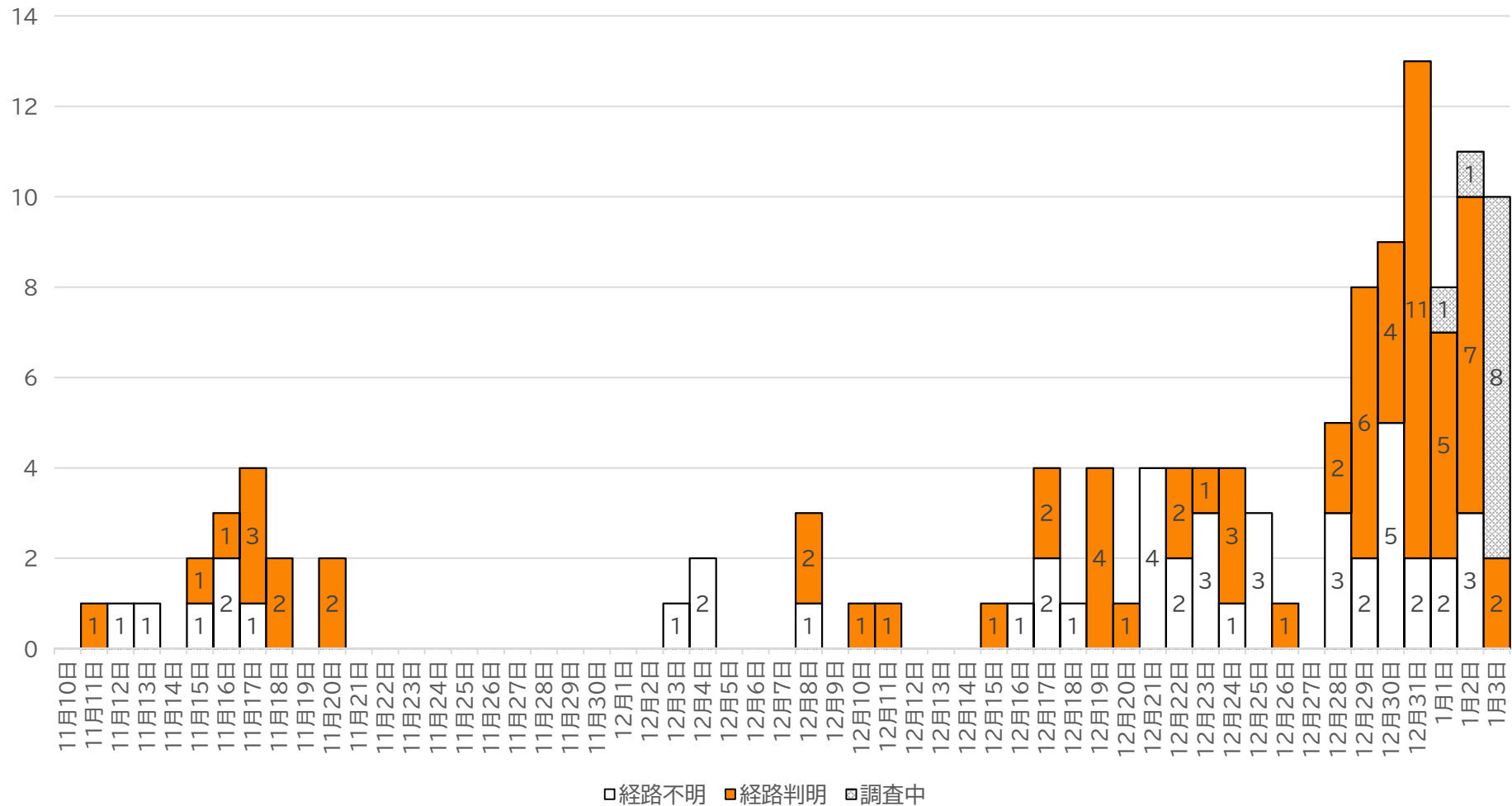
- (1) 新型コロナウイルス感染症にかかる県内の感染動向等について
- (2) 「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づくレベル判断と対応について
- (3) 新型コロナウイルスワクチン接種の推進について
- (4) その他

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(1/3現在)

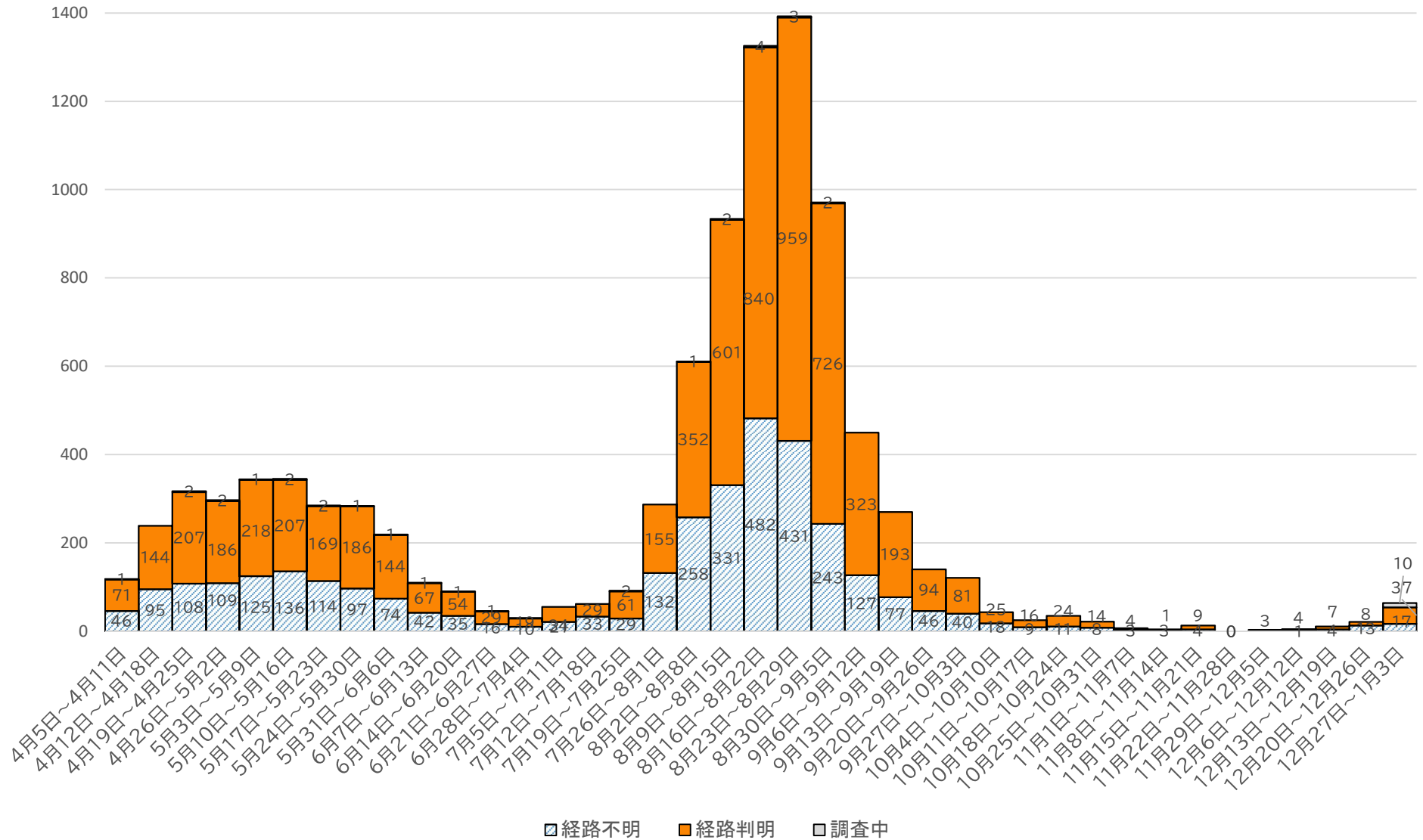
1)①流行曲線(公表日別)

新型コロナウイルス感染の流行曲線(公表日別)
1/3 15:30 現在



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

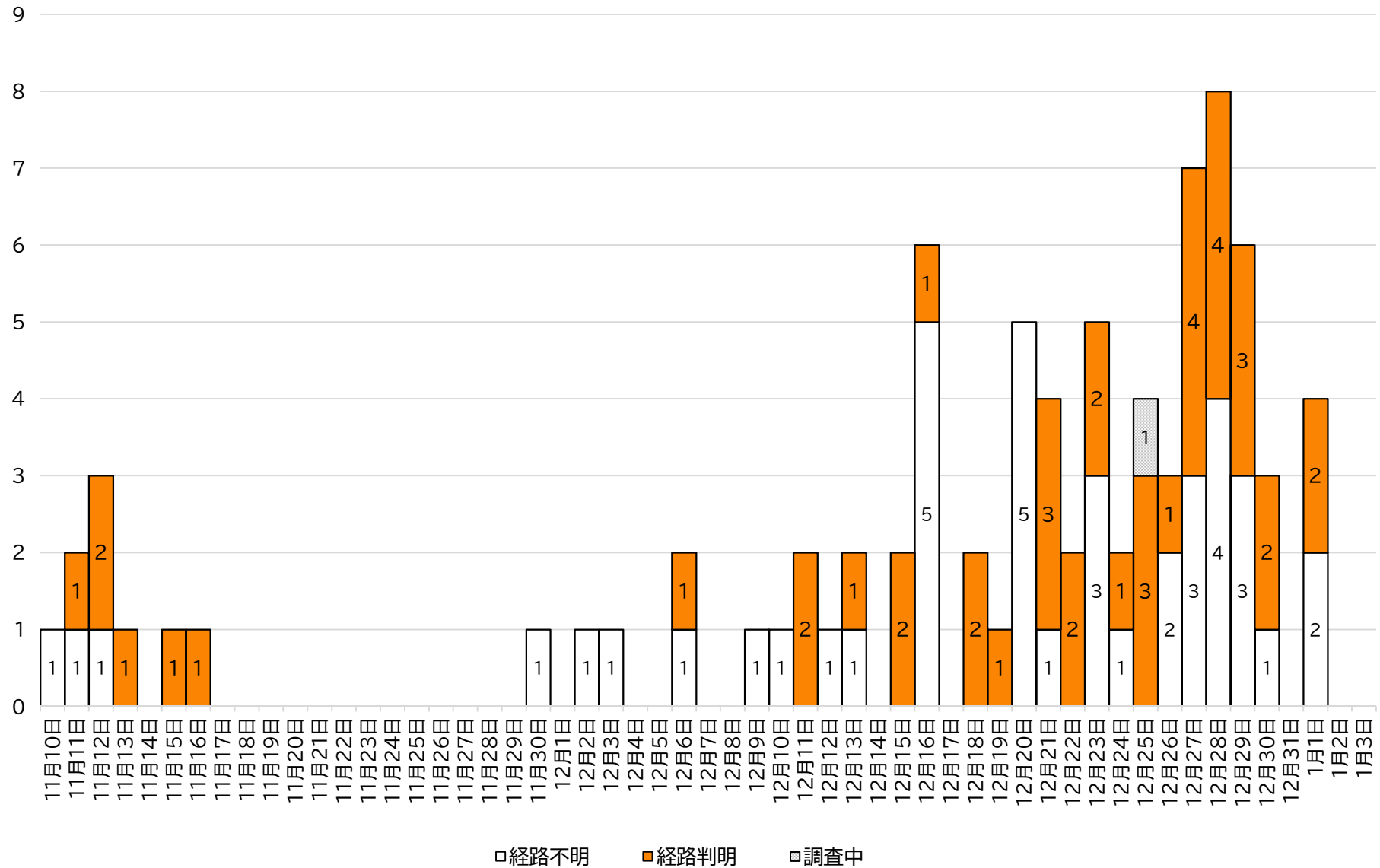
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
1/3 15:30現在(週ベース)



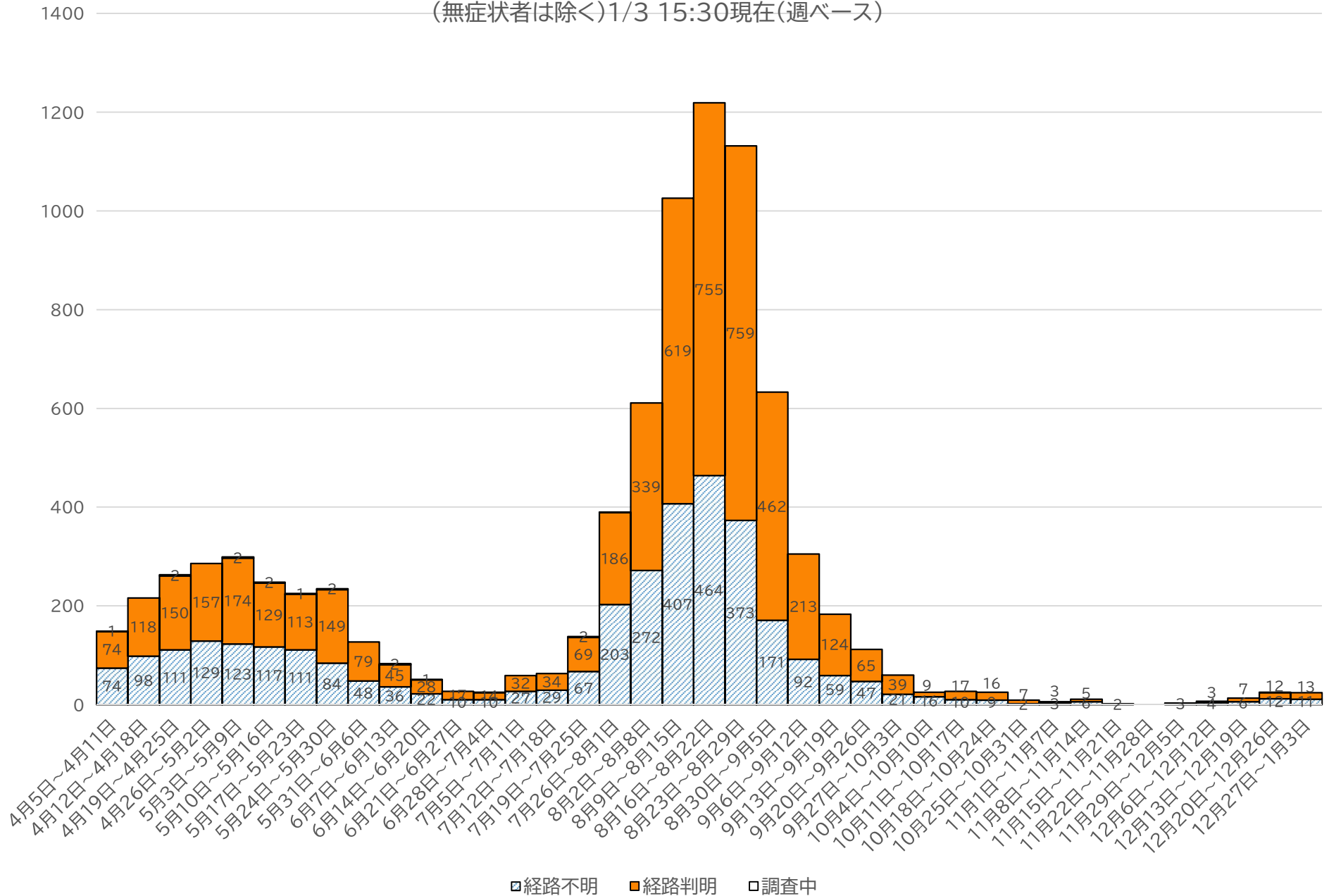
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)

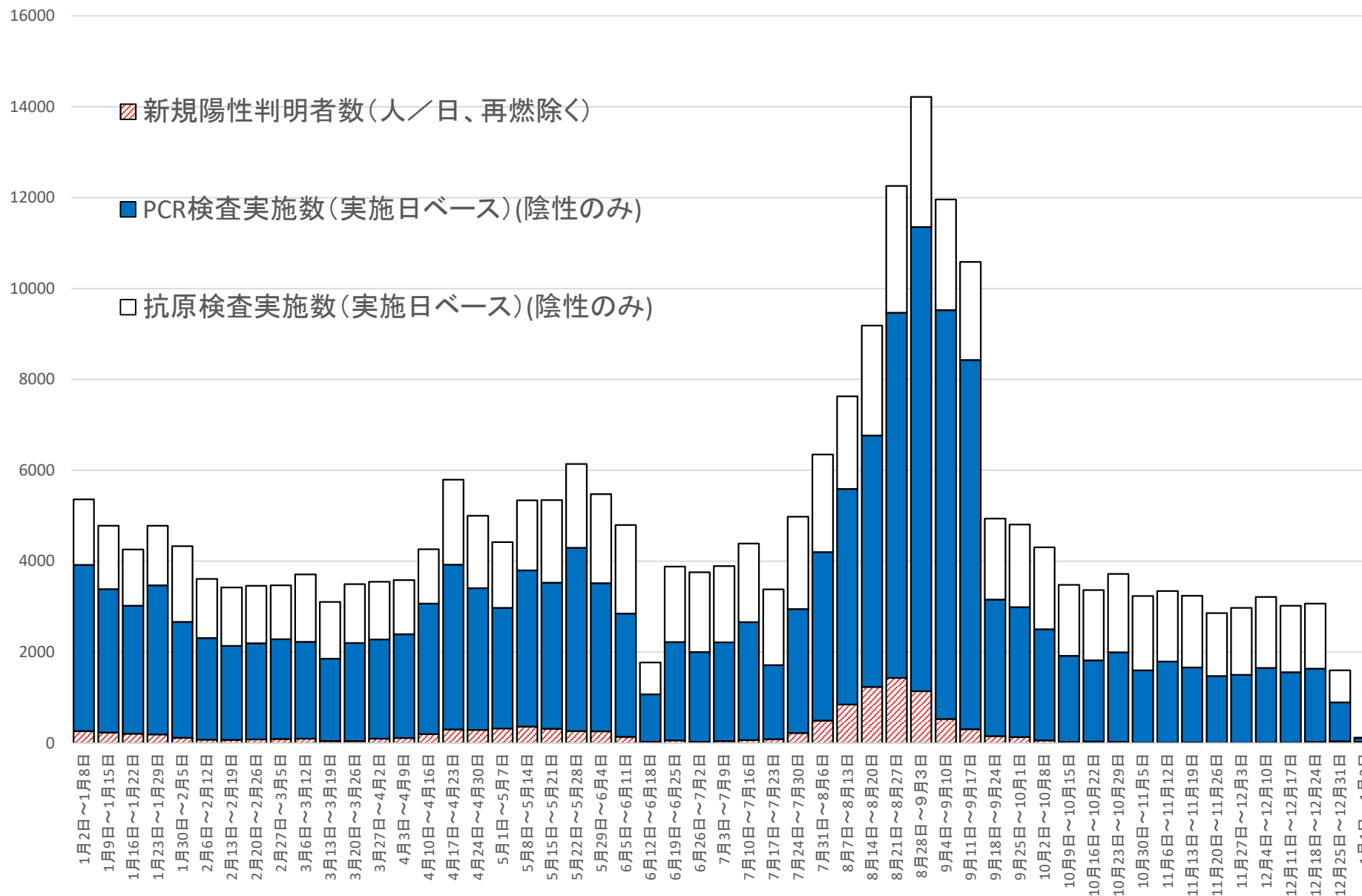
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く) 1/3 15:30 現在



新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
 (無症状者は除く)1/3 15:30現在(週ベース)



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)

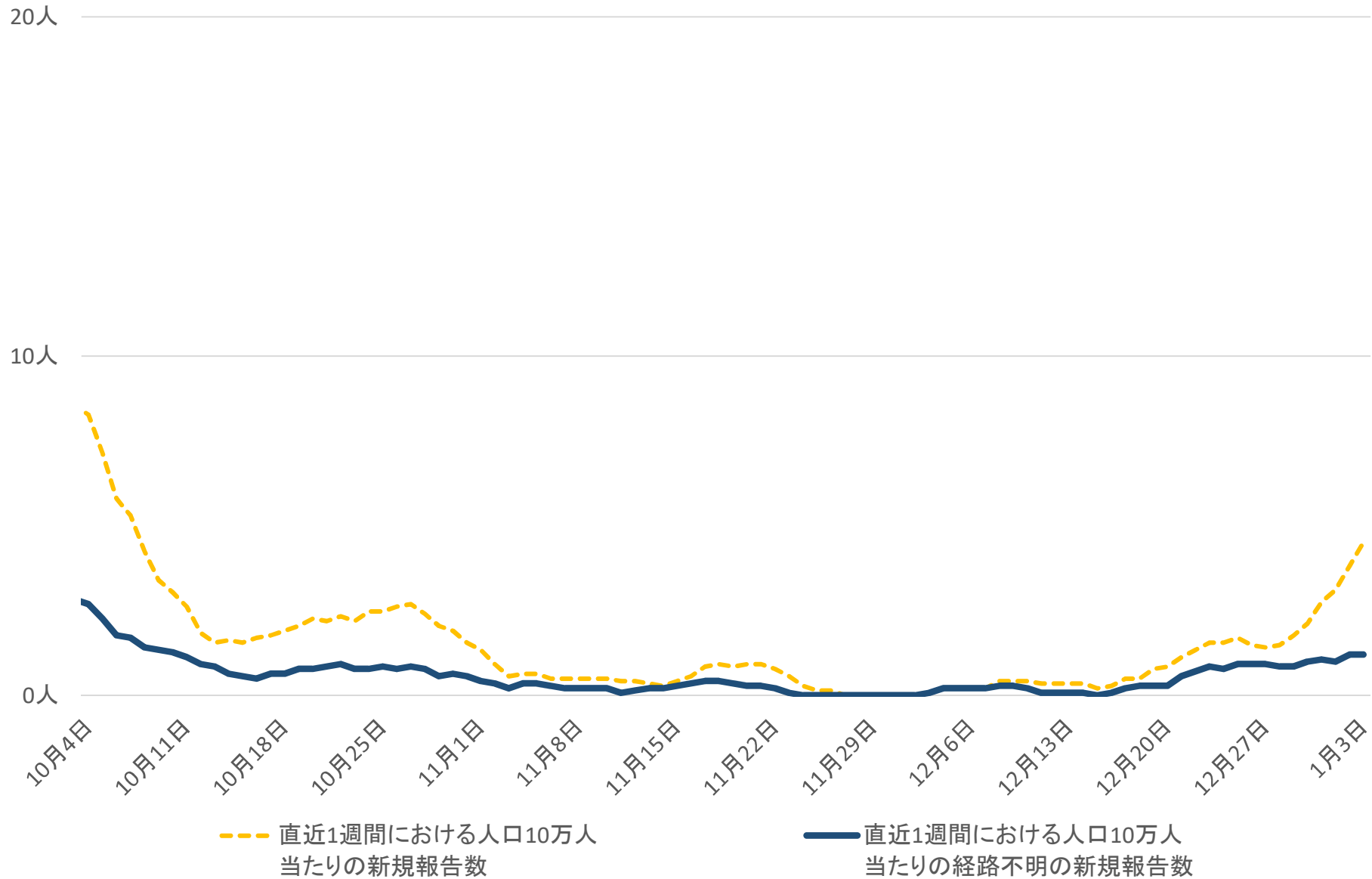


3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、1月1日現在の陽性率は3.1%でした。

4) 経路不明の新規報告者数の推移



5) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数			空床数		療養者数			清掃・修 理待ち	空数
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	399	32	25	7	367	677	26	26	0	68	583

6) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中								
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数	199,184										
(うち行政検査分)	73,290	12,536	66	25	0	1	24	15	26	12,366	104
(うちその他検査分)	125,894	(うちPCR検査判明分)	9,089					(うち自宅待機)	7		
抗原検査数	98,958	(うち抗原検査判明分)	3,447					(うち自宅療養)	8		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

7)その他県内の感染状況

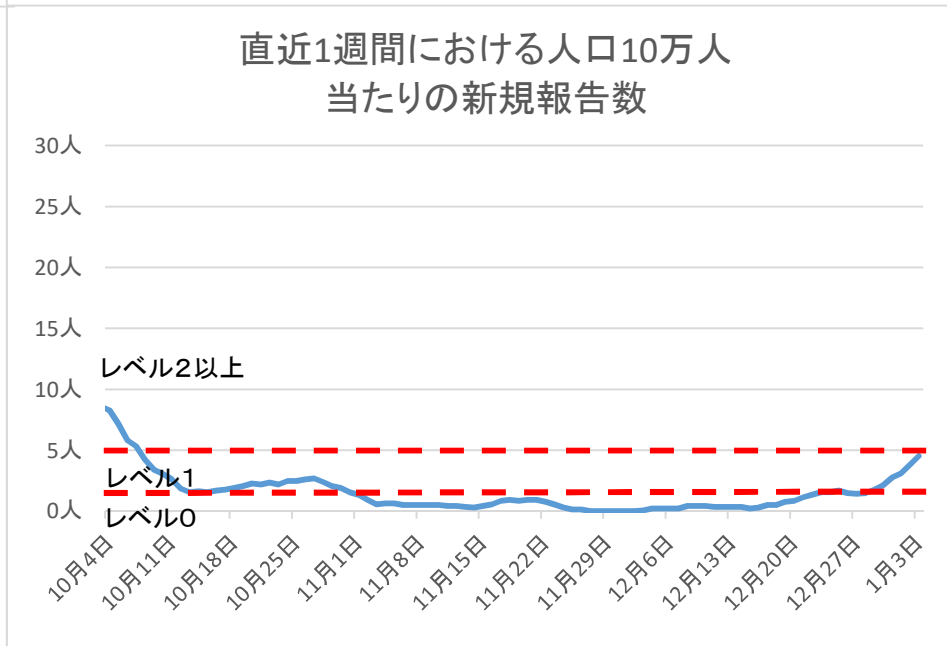
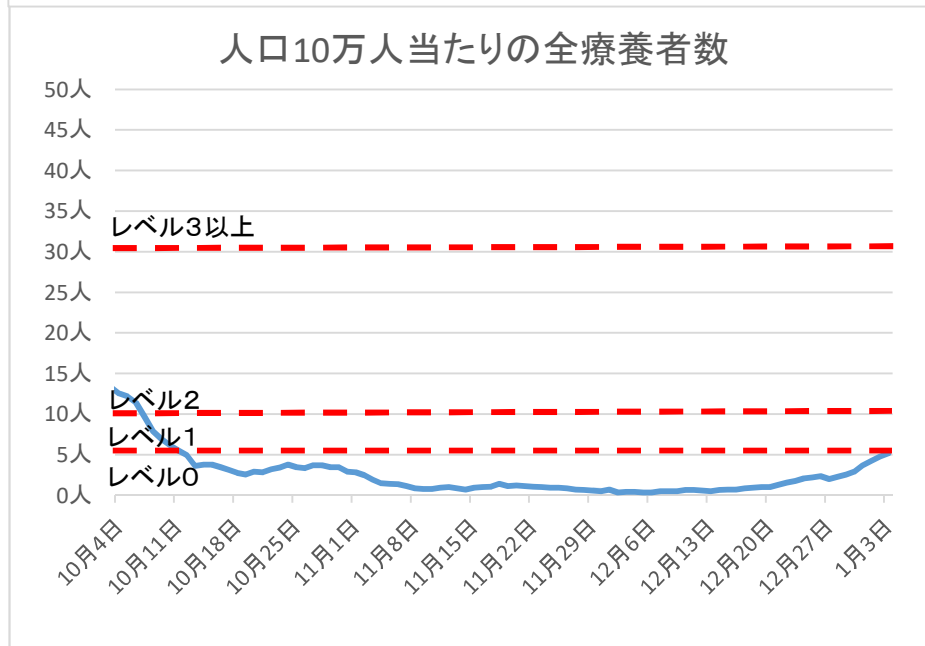
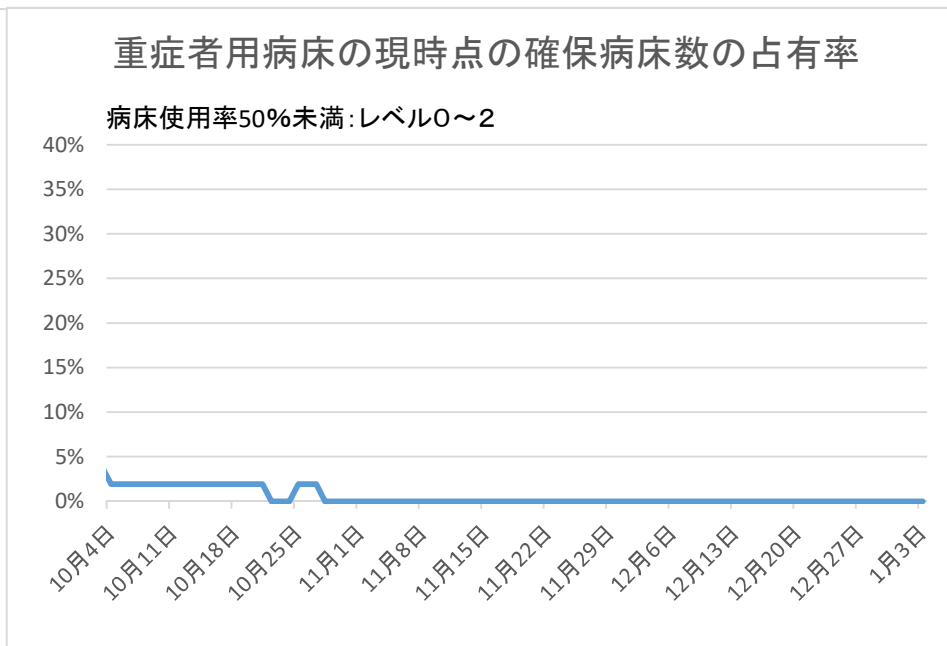
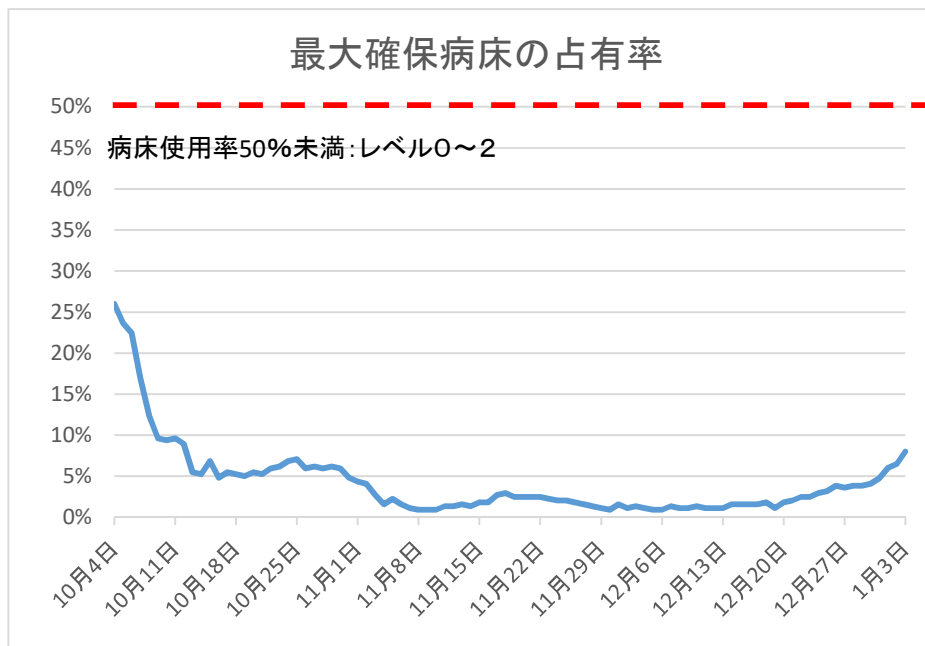
医療体制等への負荷	最大確保病床の占有率※1	8.0%	感染状況	直近1週間における 人口10万人当たりの新規報告数	4.5人
	うち重症者用病床の 最大確保病床の占有率※2	0.0%			
	人口10万人当たりの 全療養者数	5.2人			

※1 最大確保病床の数(399床)に対する割合

※2 最大確保病床の数(49床)に対する割合

重症者数	重症者以外の ICU(集中治療室) 利用者数	重症者用病床の現時 点の確保病床数	新規感染経路不明者(直近1週間分)	PCR等検査数(直近1週間分)
0人	0人	49床	17人	1,397件

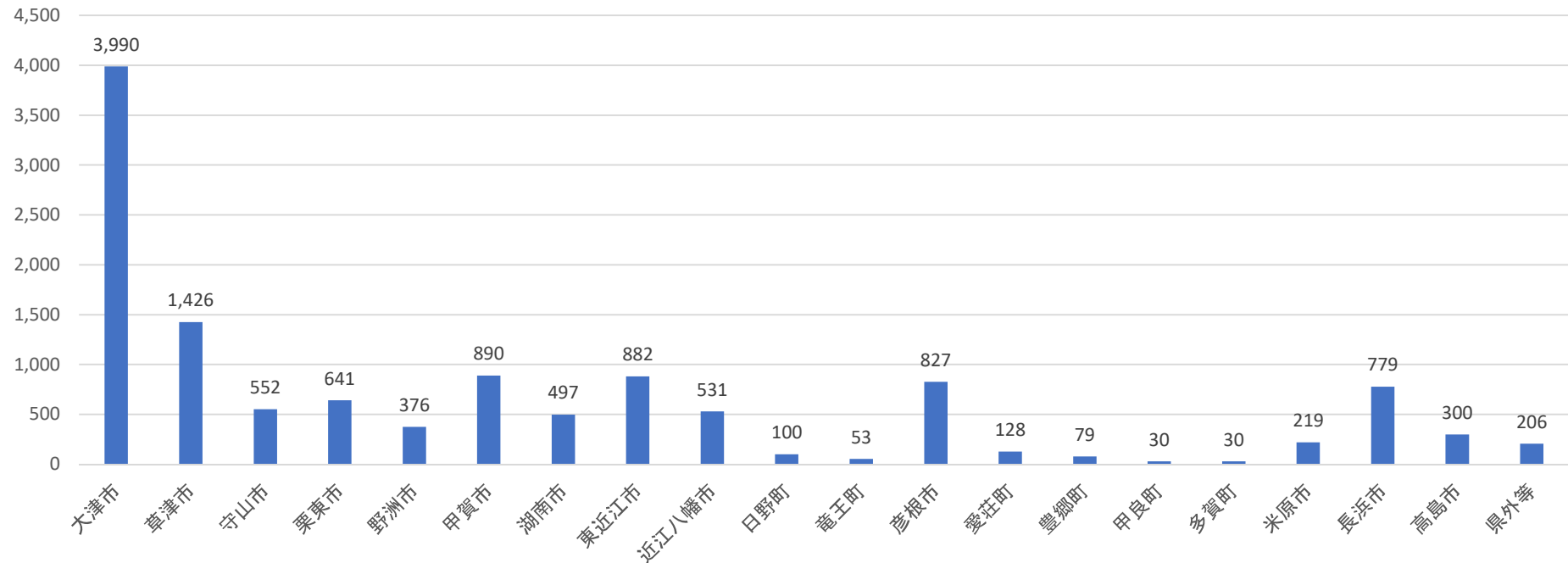
8) その他の県内の感染動向



9)性別陽性者数

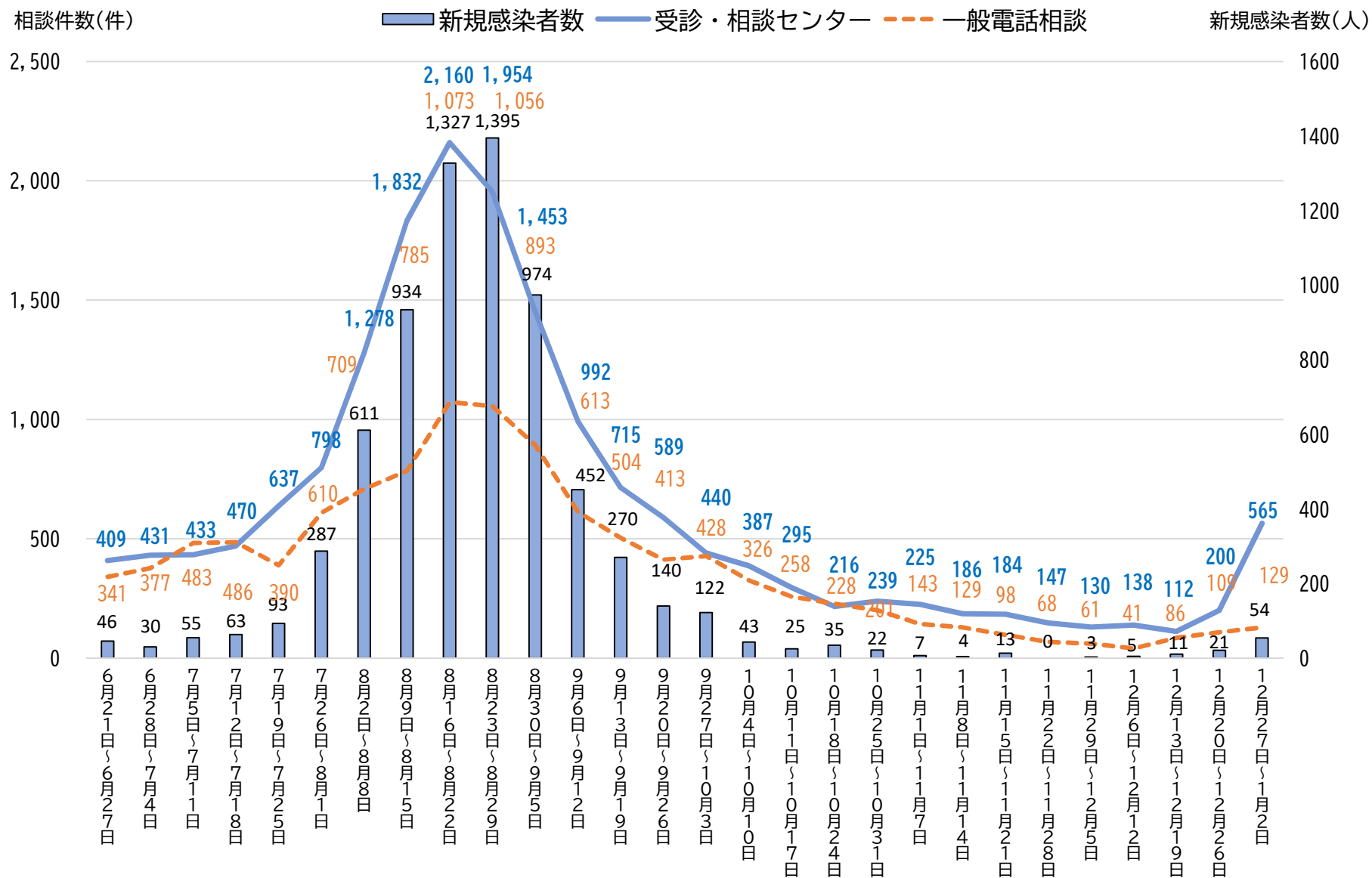
性別	陽性患者数
男性	6,485
女性	5,135
非公表(10歳未満)	916
計	12,536

10)市町別陽性者数



11) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

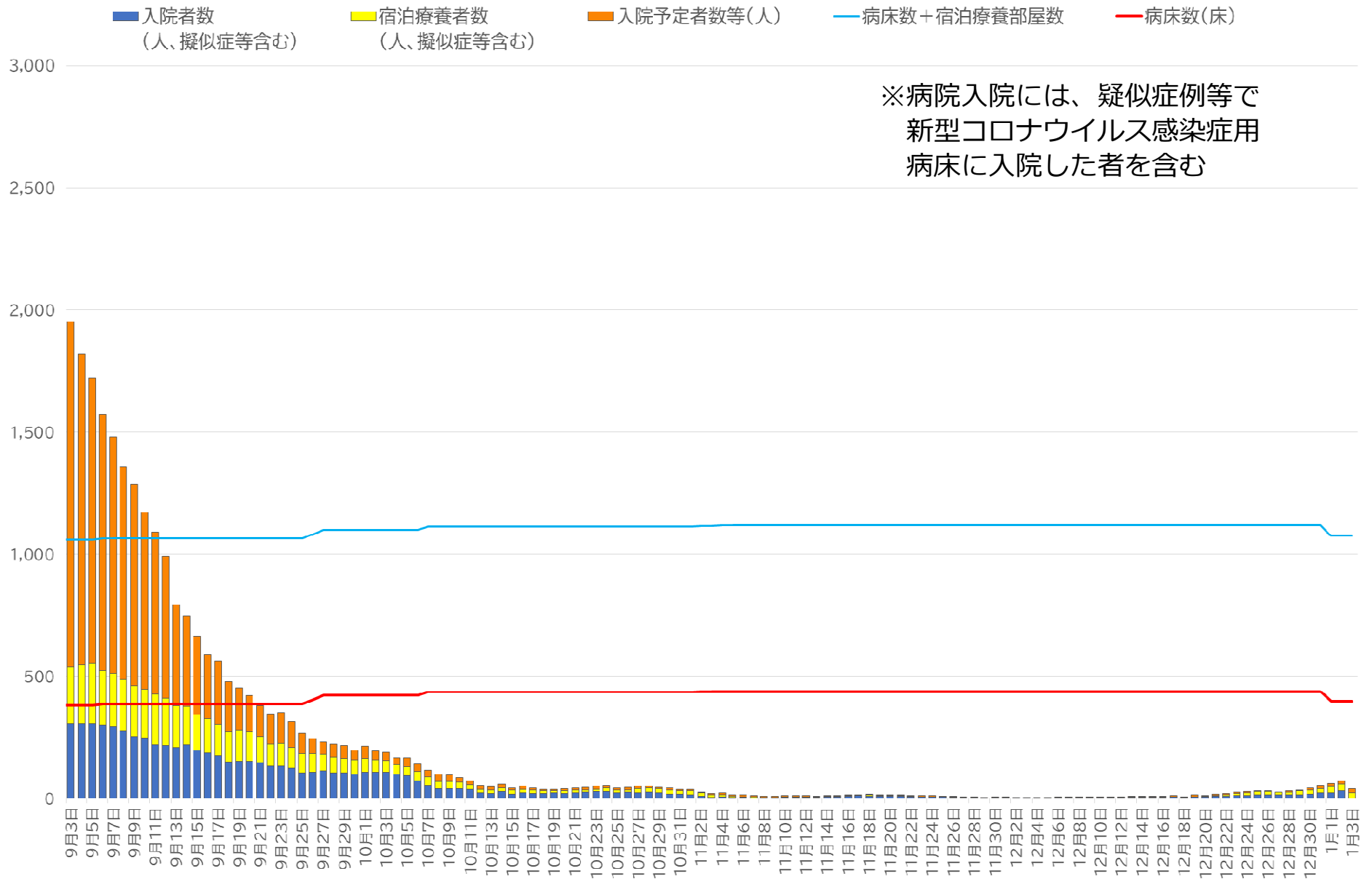


12)7月以降に発生したクラスターの状況

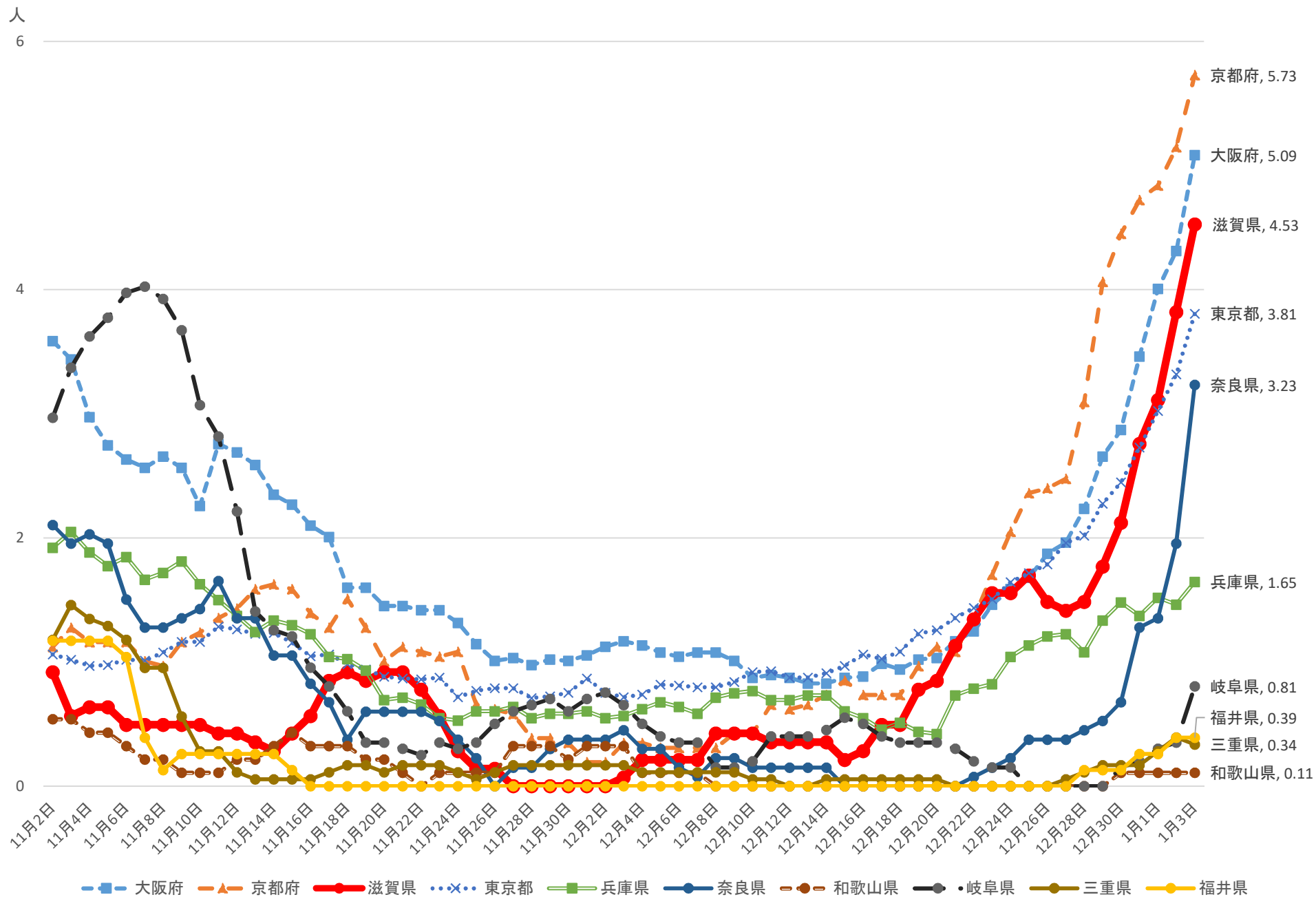
公表名	陽性者数	始期	公表名	陽性者数	始期
事業所⑰	6	7月3日	文化・スポーツ活動①	9	8月25日
会食⑪	5	7月17日	事業所⑳	4	8月14日
学校⑬	16	7月20日	事業所㉑	228	8月25日
保育関連施設⑥	7	7月29日	事業所㉒	68	8月23日
事業所⑱	6	8月1日	事業所㉓	12	8月24日
保育関連施設⑦	5	7月30日	保育関連施設⑫	8	8月24日
学校⑭	13	8月5日	事業所㉔	8	8月19日
事業所⑲	10	8月6日	事業所㉕	6	8月28日
事業所㉒	7	8月8日	介護関連事業所⑮	13	8月30日
保育関連施設⑧	40	8月10日	保育関連施設⑬	14	8月27日
保育関連施設⑨	7	8月6日	保育関連施設⑭	6	8月29日
保育関連施設⑩	9	8月6日	事業所㉖	20	8月27日
学校⑮	7	8月9日	事業所㉗	6	8月27日
介護関連事業所⑭	5	8月11日	事業所㉘	5	9月4日
学校⑯	7	8月11日	学校⑱	4	9月3日
事業所㉑	6	8月11日	事業所㉙	7	9月8日
事業所㉒	7	8月12日	事業所㉚	8	9月10日
事業所㉓	6	8月17日	事業所㉛	26	9月9日
事業所㉔	11	8月14日	保育関連施設⑮	11	9月12日
事業所㉕	24	8月20日	事業所㉜	16	8月31日
保育関連施設⑪	32	8月23日	医療機関⑮	12	9月16日
事業所㉖	9	8月22日	保育関連施設⑯	6	9月22日
会食⑫	4	8月19日	学校⑲	6	9月17日
学校⑰	13	8月23日	保育関連施設⑰	5	9月29日
事業所㉗	31	8月21日	飲食店⑲	11	10月20日
			飲食店⑳	15	12月28日

※県内において確認された陽性者数

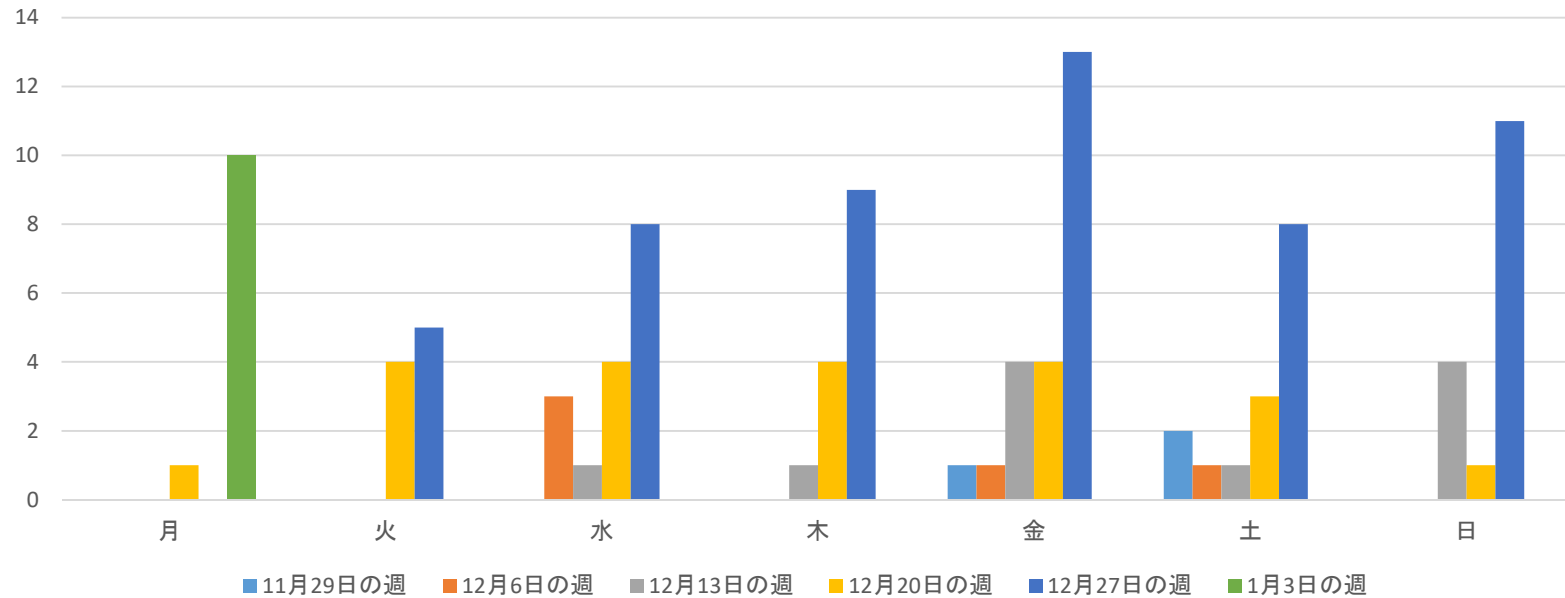
入院医療体制について



近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(R3.11/1-R4.1/3)

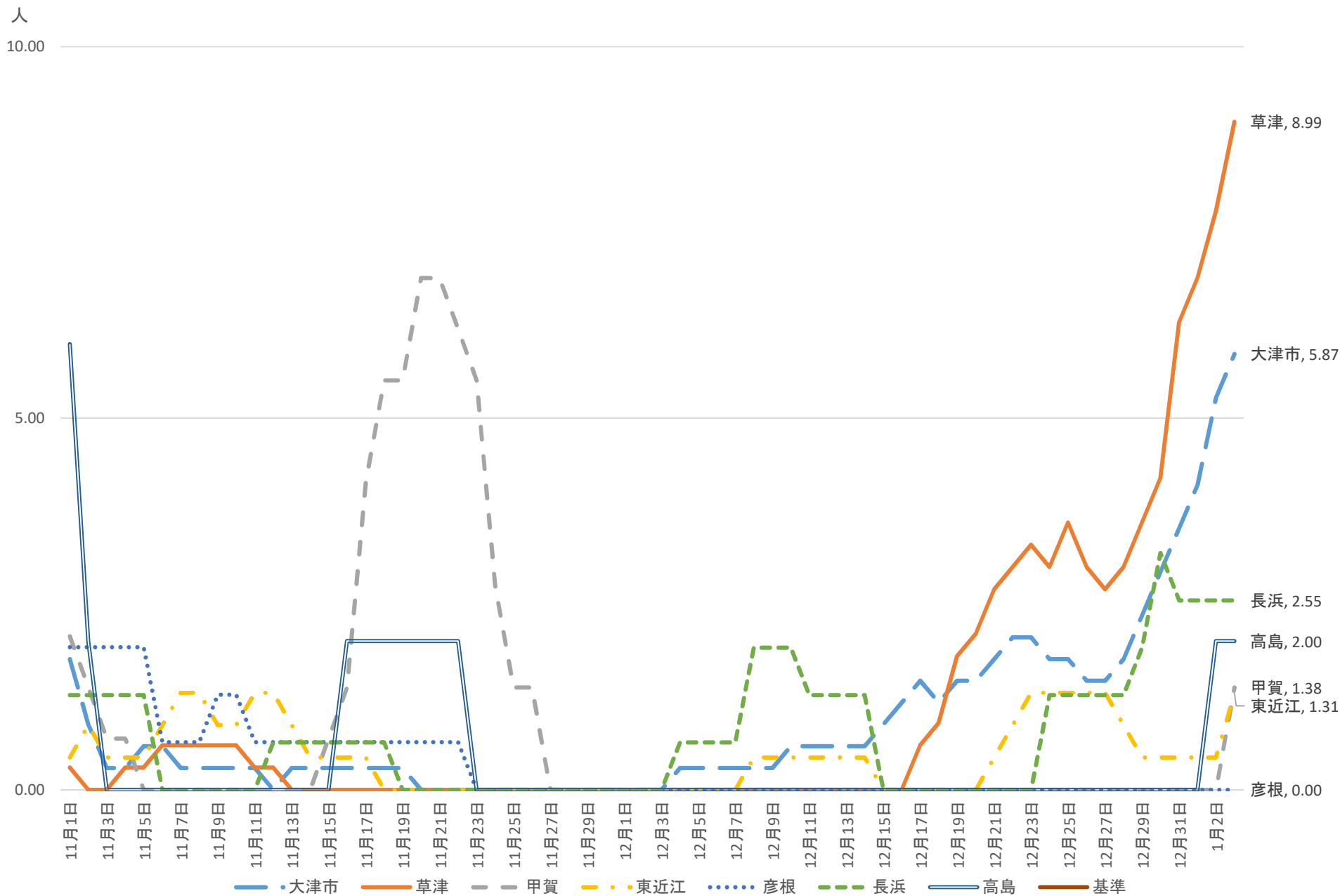


曜日ごとの新規陽性者数の推移

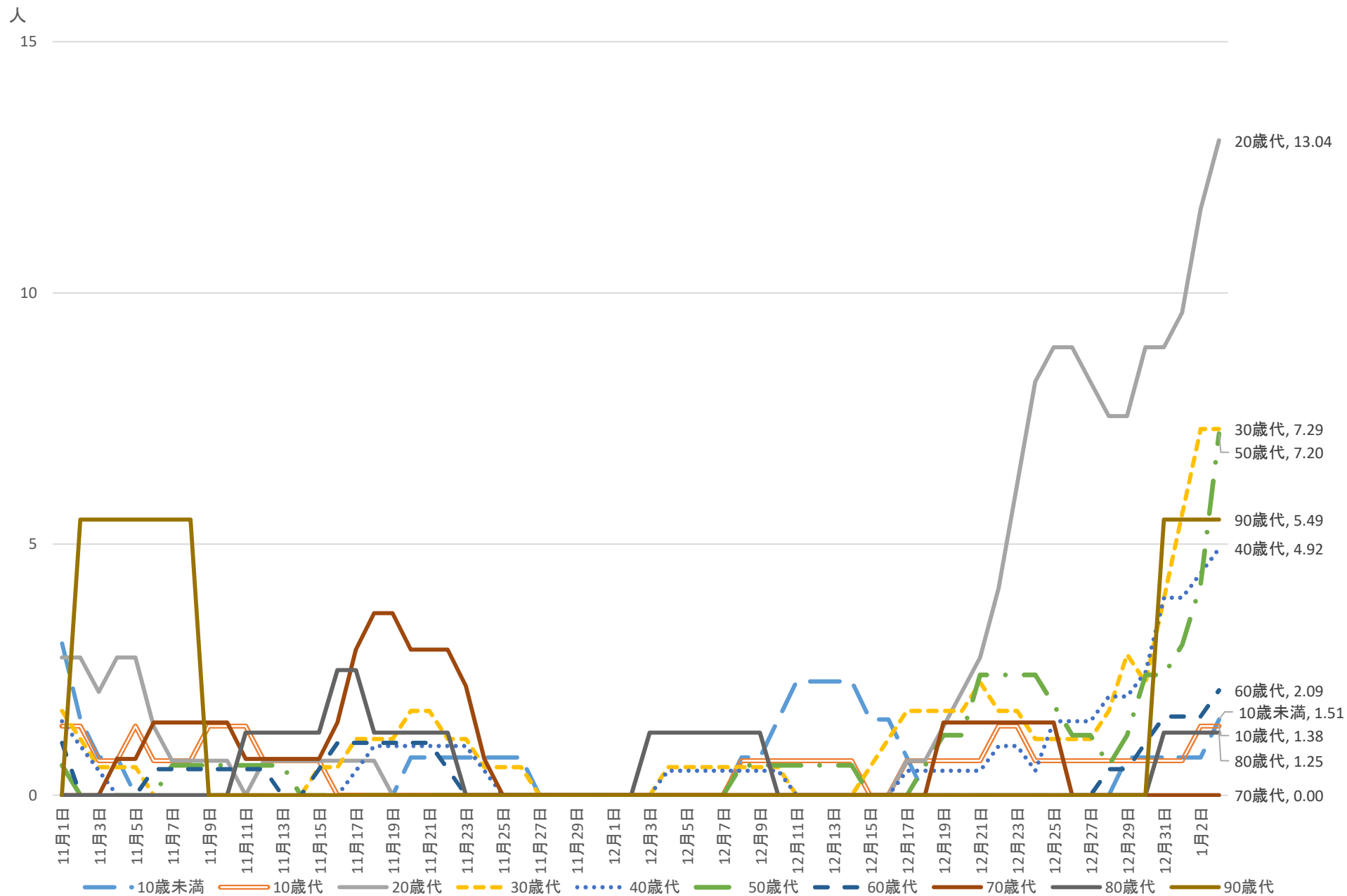


月	火	水	木	金	土	日	週合計	今週/先週比
11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	3	-
0	0	0	0	1	2	0		
12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	5	1.67
0	0	3	0	1	1	0		
12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	11	2.20
0	0	1	1	4	1	4		
12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	21	1.91
1	4	4	4	4	3	1		
12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	54	2.57
0	5	8	9	13	8	11		
1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9		
10								

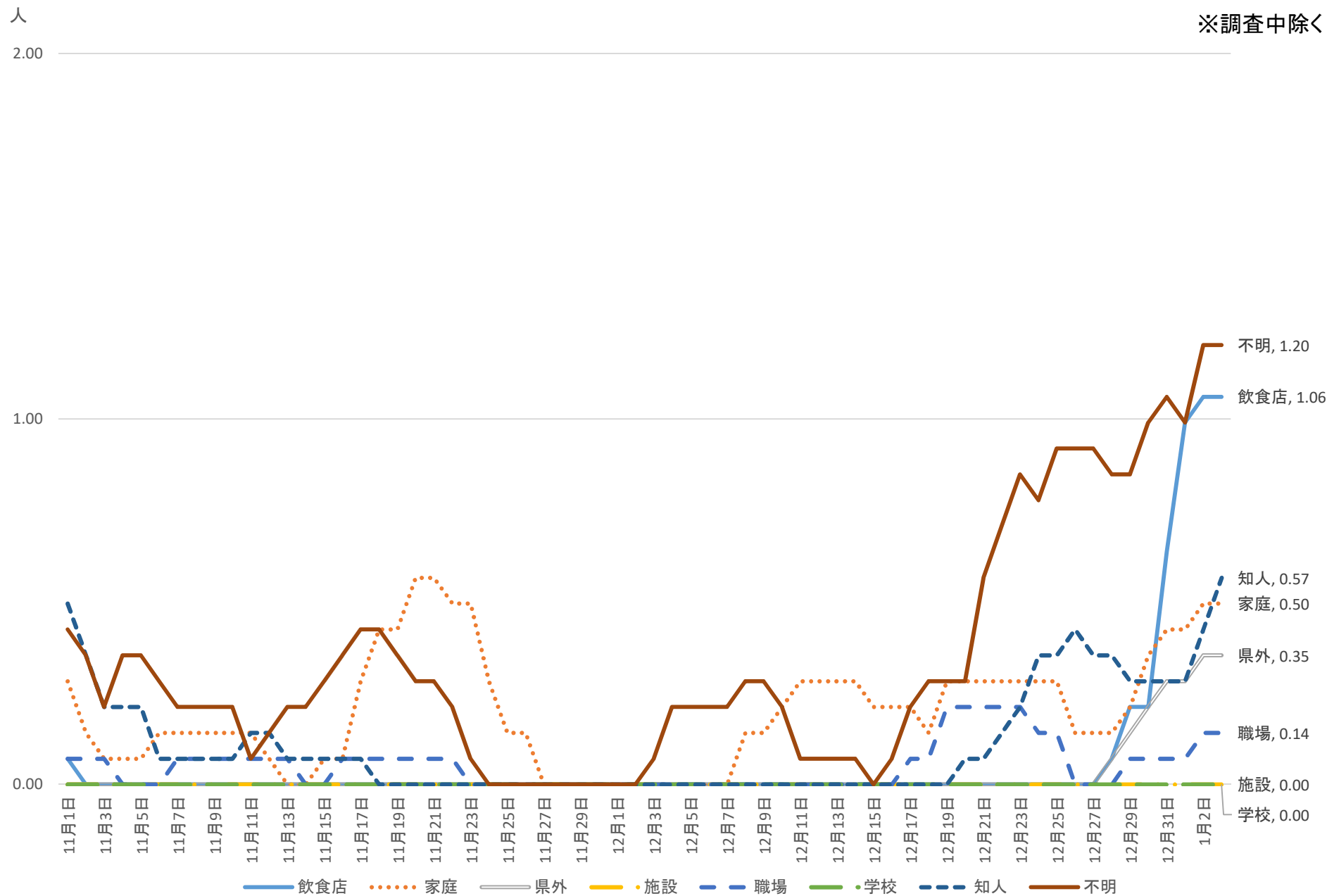
保健所別10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者数) (R3.11/1~R4.1/3) 日別・公表日



滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (R3.11/1~R4.1/3) 日別・公表日



滋賀県 感染経路別の10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数) (R3.11/1~R4.1/3) 日別・公表日



評価

- 本県の先週の新規陽性者数は54人と5週間連続で増加傾向にあります。第5波の立ち上がり時に特徴的であった20歳代および感染経路不明者の増加が見られています。また、10月下旬以降確認されていなかったクラスターも発生しました。
- 他都府県の状況を見ると、東京都、大阪府や京都府などの都市部で増加傾向が続いています。これらの状況から、増加局面に入ったと考えます。
- 年末年始において、忘年会・新年会、お正月休み、帰省や旅行等で日常では生じない接触や会食の機会が増えたことが想定され、今後、新規陽性者数が急増することを想定しておく必要があります。
- オミクロン株については、本県でも陽性者が確認され、大阪府および京都府等で市中感染の報告があります。アドバイザリーボードでは「地域で一定規模の伝播が起きている可能性」があるとしています。英国などでは、デルタ株よりもさらに早く感染拡大していると報告されています。
- 感染拡大を防ぐためには、継続して手洗いやマスク着用等、基本的な感染対策を徹底することが必要であり、オミクロン株に対しても有効です。また、気温が低下し屋内での活動が増加することも想定されますので、十分な換気を行うなど、密を回避する対策も心がける必要があります。

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」におけるレベルについて

本県の現状は、新規陽性者数が低い水準で継続していたところであるが、12月中旬以降新規陽性者数とともに、人口10万人当たりの療養者数も徐々に増加し、レベル1の判断指標に達したところである。

また、近隣府県においても増加傾向にあり、こうした状況を踏まえ、「レベル1」にあると判断する。

判断指標		レベル1の基準	現在の状況 (1月3日時点)
医療体制等への負荷	①最大確保病床の使用率	最大確保病床の占有率 ^{※1} —	最大確保病床の占有率 ^{※1} (8.0%)
	②重症者用の最大確保病床の使用率	最大確保病床の占有率 ^{※2} —	最大確保病床の占有率 ^{※2} (0.0%)
	③療養者数	人口10万人当たりの全療養者数 5人以上 (入院+自宅+宿泊)	人口10万人当たりの全療養者数 5.2人 (入院+自宅+宿泊)
感染状況	④新規報告数	2人/10万人/週 以上	4.5人

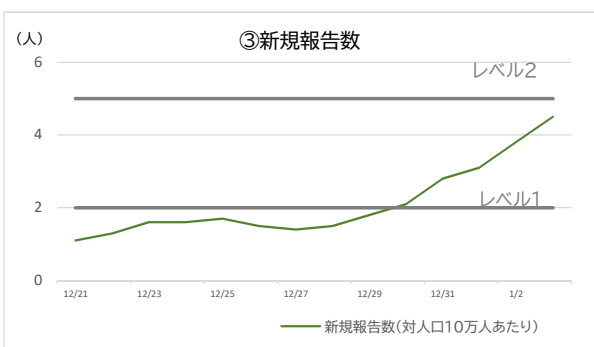
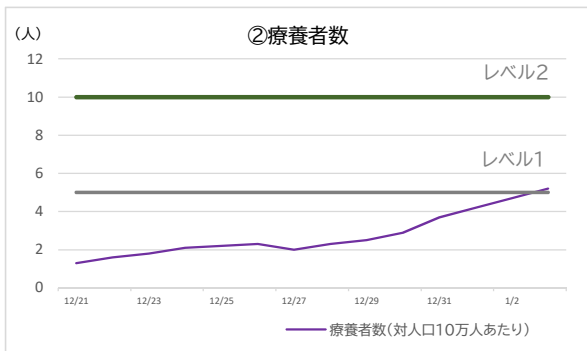
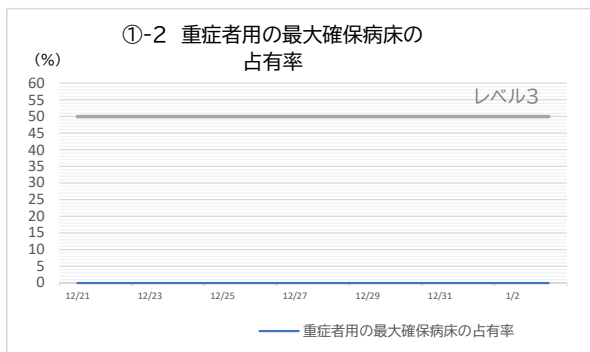
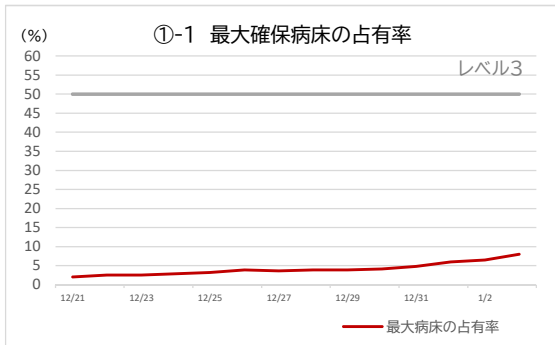
*1「最大確保病床の占有率」は、399床に対する割合

*2「うち重症者用病床の最大確保病床の占有率」は、49床に対する割合

【参考】

■レベル判断指標の推移について

判断指標		レベル1	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
医療体制等への負荷	①最大確保病床の使用率(%)	—	2.0	2.5	2.5	2.9	3.2	3.9	3.6	3.9	3.9	4.1	4.8	6.0	6.5	8.0
	②重症者用の最大確保病床の占有率(%)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	②療養者数(人) (対人口10万人)	5人以上	1.3	1.6	1.8	2.1	2.2	2.3	2.0	2.3	2.5	2.9	3.7	4.2	4.7	5.2
感染状況	③新規報告数(人) (対人口10万人)	2人以上	1.1	1.3	1.6	1.6	1.7	1.5	1.4	1.5	1.8	2.1	2.8	3.1	3.8	4.5



■レベル判断指標について

レベル判断については、参考指標も考慮し、総合的に判断を行う。判断にあたっては、専門家の意見も聴取

判断指標		レベル4 避けたいレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル1 維持すべきレベル	レベル0 感染者ゼロレベル
医療体制等への負荷	①最大確保病床の使用率	入院が必要な新型コロナウイルス感染症患者へ入院加療を提供できない状態	50%以上	—	—	—
	②重症者用病床の最大確保病床の使用率	—	50%以上	—	—	—
	③療養者数 (入院+自宅+宿泊) (人口10万人あたり)	—	30人以上	10人以上	5人以上	5人未満
感染状況	④直近1週間の新規報告数 (人口10万人あたり)	—	—	5人以上	2人以上	2人未満
予測ツールによる 3週間後の病床数		—	最大確保病床数 を超過	—	—	—

【参考指標】

- ・大阪府、京都府等の近隣府県の感染状況
- ・直近1週間と先週1週間の比較
- ・実効再生産数(Rt)
- ・入院率
- ・感染経路不明割合
- ・PCR等検査陽性率

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」 に基づく対応について

(令和4年1月4日)

■ 現在は、「レベル1」です。

- いま一度、基本的な感染対策を徹底し
感染拡大をくい止めましょう！
- 一人一人の行動が感染拡大防止につながります！

基本的な感染対策の徹底 ~ ワクチン接種後も感染対策の継続を ~

- 手洗い、マスクの着用、密の回避(換気、距離の確保)などの実践を！
- 感染リスクが高まる「5つの場面」(別紙1参照)に注意を！
- 家庭での感染対策(別紙2参照)を！
- テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策(別紙3参照)を！

ワクチン接種について

- 追加接種の接種券が届いた方・未接種の方は、発症予防・重症化予防等の観点から、ワクチンの種類にかかわらず前向きな接種の検討を！

会食について

- 新年会、成人式前後の集まりなどの会食は認証店舗でマスク会食など感染リスクを下げる工夫を！

(別紙4、5参照)



成人式について

- 会場やその周辺で密集せず感染対策の徹底を！
- 体調が悪い場合は参加を控えて！

検査受検について(～令和4年1月31日)

- 感染リスクが高い環境にある等のため感染不安を感じる無症状の方は、無料検査実施事業者での検査受検を！

感染リスクが高まる



「5つの場面」

① 飲酒を伴う懇親会

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



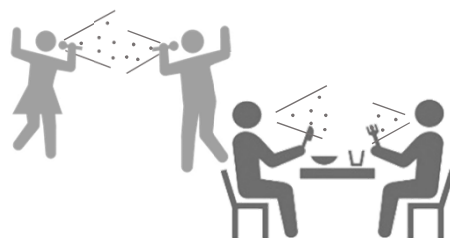
② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



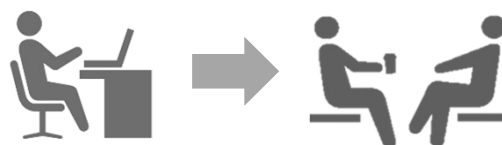
④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤ 仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



家族を守るために
家庭で気を付けていただきたい

4つのポイント +1

ポイント①

家庭に持ち込まない



- ✓ 会食する際には**感染予防**をし、なるべく**普段一緒にいる人と認証店舗**で
- ✓ 家族や普段一緒にいる人以外と会食する際は特に注意

ポイント②

家庭内で
拡げない



普段接しない人とのマスクなしでの会話をした場合や、風邪などの症状がある場合は、

- ✓ 食事の**時間をずらす**
- ✓ 部屋を**分ける**
- ✓ 同室で過ごす場合は**マスクの着用**

ポイント③

車の中でも
感染対策を



- ✓ **適度な換気**
(エアコンを外気導入にし、窓を開ける)
- ✓ **マスクを着用**

ポイント④

基本的な感染
対策も十分に



- ✓ 帰宅時および**飲食前には手洗い**
- ✓ **咳エチケット**の実践
- ✓ **タオルの共有**をしない
- ✓ 部屋の定期的な**換気**
- ✓ こまめな**共有部分の消毒**

コロナに負けない
健康づくりを

+1



- ✓ **栄養や休養**をしっかりとる
- ✓ **適度な運動**の実施
- ✓ **ストレス**をためない

職場内感染を防ぐ

(別紙3)

4つのポイント

Point 1

出勤前後



- ✓ 体調に違和感がある場合は出勤を控える
- ✓ 会食する際には感染予防をし、なるべく普段一緒にいる人と認証店舗で
- ✓ 家族や普段一緒にいる人以外と会食する際は特に注意

Point 2

工作中



- ✓ 体に不調を感じた時は早めに申告
- ✓ 職場内でも適宜、手洗い・消毒・換気
- ✓ 対面で会話をするときにはマスクの着用や仕切りの設置
- ✓ 車内でもマスクの着用と換気を

Point 3

休憩時



- ✓ 会話の際はマスク着用
- ✓ 休憩・更衣・食事の時間をずらす
- ✓ 休憩時や喫煙時など一息つく場面では特に注意

Point 4

新しい働き方の実践



- ✓ テレワーク勤務の活用
- ✓ ローテーション勤務の活用
- ✓ 時差出勤の活用
- ✓ 会議はオンラインで

感染を防ぎ楽しく**飲食**するために
気を付けていただきたい

3つのポイント

誰と

ポイント①



- ✓ 会食する際には**感染予防**をし、なるべく**普段一緒にいる人と認証店舗**で
- ✓ 家族や普段一緒にいる人以外と会食する際は特に注意

どこで

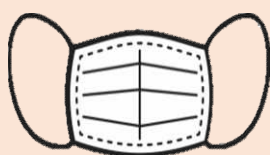
ポイント②



- ✓ 適切な換気や消毒など基本的な感染対策ができている**認証店舗**で
- ✓ **座席やテーブルの配置は十分な距離**をおいて（密接な状況は特に注意を）
- ✓ 車内で飲食する際は**黙食と換気**を

どうやって

ポイント③



- ✓ **会話**の時は**マスク着用**
- ✓ 箸やコップを**使い回さない**
- ✓ **適度な酒量**で**大声**を出さず、静かに
- ✓ 体調が悪い場合は参加しない
- ✓ 少人数（同居家族を除き、できるだけ一卓あたり4人までに）・短時間で
- ✓ 『もしサポ滋賀』のQRコードの読み取りを

飲食店に気を付けていただきたい

5つのポイント **+1**

ポイント①

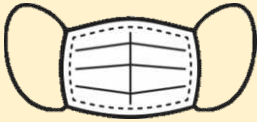
入店時に消毒を



- ✓ 入店時に**アルコール**による**手指消毒**の確認をしましょう
- ✓ 咳などの風邪症状がある場合には、入店をお断りする旨の**掲示**をしましょう

ポイント②

食事中以外はマスク着用を



- ✓ 食事中以外は、**必ずマスク**を着用するよう案内しましょう
- ✓ **従業員も必ずマスク**を着用しましょう
(フェイスシールドやマウスシールドだけでは不十分です。)

ポイント③

十分な距離の確保を



- 飛沫感染予防のため
- ✓ 全ての座席で対面距離を**1 m以上確保**しましょう
 - ✓ **パーティション**などで区切りましょう

ポイント④

十分に換気を



- ✓ できるかぎり**常時換気**をしましょう
- ✓ できない場合は、30分に1回以上数分程度、**2方向の窓**を**全開**にしましょう

ポイント⑤

接客サービスは距離の確保を



- ✓ 接待する従業員も**1 m以上間隔**を確保しましょう
- ✓ お酌等はやめましょう
- ✓ カラオケ時は、**2 m以上間隔**を確保し、マスクを着用しましょう

飲食店認証制度の認証を

+1



- ✓ 「**みんなでつくる滋賀県安心・安全店舗認証制度**」の認証を受けましょう
- ✓ 「**もしサポ滋賀**」のQRコードの読み取りをお願いしましょう

ワクチン接種の現状について

1. 追加接種(3回目接種)状況

※令和4年1月4日8:30時点

接種済者数	1回目	1,119,982人
	2回目	1,110,703人
	3回目	5,660人

2. 職域追加接種申請数

※令和4年1月4日8:30時点

	申請件数
企業等	19
大学	2
総件数	21

参考) 初回接種において、55団体が実施

3. 専門相談窓口(コールセンター)相談件数

令和3年3月1日～令和3年12月28日

総件数	手段内訳			内容内訳				
	電話	FAX	メール	接種後の副反応の相談	接種前の副反応の心配	副反応以外の医療に係る相談	その他	
日中	27,624	27,462	21	141	8,695	4,280	2,351	12,298
夜間	5,257	5,245	0	12	3,671	287	664	635
合計	32,881	32,707	21	153	12,366	4,567	3,015	12,933

※1 日中…午前9時から午後6時まで、夜間(4/12から)…午後6時から午前9時まで

※2 その他…当窓口で本来対応すべき内容ではないワクチン接種予約に関する問い合わせや苦情など

4. 副反応疑いの件数

令和4年1月4日8:30現在

	副反応疑い報告数			年代別	
		うち重篤		64歳以下	65歳以上
		うち死亡			
男性	76	36	16	57	19
女性	149	50	5	112	37
不明	0	0	0	0	0
合計	225	86	21	169	56

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

※ 死亡の21例のうち、17例については、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能、4例は接種との関連ありと報告されている。

3回目接種の前倒しイメージ(滋賀県)

令和4年1月4日更新

		令和3年度					令和4年度				合計
		12月	1月	2月	3月	小計	4月	5月	6月	7月	
		(2回目接種完了月) ~R3年4月	R3年5月	R3年6月	R3年7月		R3年8月	R3年9月	R3年10月	R3年11月	
医療従事者等	前倒し前	12	20	14	4	50	---	---	---	---	50
	2か月前倒し後	46	4	---	---	50	---	---	---	---	50
高齢者	前倒し前	---	14	117	186	317	19	4	3	2	345
	2か月前倒し後 (高齢者施設等の入所者等)	24	35	4	1	64	1	---	---	---	65
	1か月前倒し後 (上段以外の高齢者)	---	13	245	15	273	3	2	2	---	280
一般	前倒し前	---	4	7	47	58	214	175	195	55	697
	2か月前倒し後 (高齢者施設の職員等) その他は前倒し無し	11	47			58	214	175	195	55	697
合計	前倒し前 対象者数計	12	38	138	237	425	233	179	198	57	1092
	前倒し後 対象者数計	81	99	249	16	445	218	177	197	55	1092
ワクチンの供給(回数)		54	131	280		465	40	未定	未定	未定	505

※4月分については、一部の配分のみ

【単位:千人】 ただし、ワクチンの供給については千回